



営農アドバイザー決起集会

意思統一で一体感ある活動目指す

当JAは4月5日、富士地区本部ホワイトパレスで 営農アドバイザー決起集会を開き、営農アドバイ ザーをはじめ役職員ら計80人が出席しました。

本年度の活動指針を共有した他、3月の「営農ア ドバイザー 一人1課題発表報告会」で最優秀賞を 受賞した宮島快職員が課題に対する取り組み成果 を発表。営農アドバイザーらは産地振興と生産者 の農業所得向上に向けて意思統一を図りました。



一人1課題の発表をする宮島職員





地域貢献活動でいちご狩り

収穫体験イベントを初開催

当JAは3月、JA共済連静岡県本部が交付する 「地域・農業活性化促進助成金」を活用して、収穫 体験イベントを伊豆の国市の江間いちご狩りセン ターで開きました。4日間で計8回開催し、組合員や 利用者など合わせて290組987人がいちご狩りや クイズを楽しみました。

当JAでは、さまざまなイベントを開催するなど、 地域貢献活動やJAのファンづくりを行っています。



大きくて甘い「紅ほっぺ」を食べて喜ぶ子どもたち

新入職員37人が仲間入り

令和6年度入組式開く

当JA入組式を4月1日、沼津市の本店で開きまし た。新入職員37人が梶毅組合長の訓示を胸に刻 み、職員としての第一歩を踏み出しました。

梶組合長は、JA職員として責任を持って行動す ることなどの心構えを示し、新入職員を激励しまし た。新入職員代表で渡邉琴羽職員が辞令を受け 取り「地域の皆さまに信頼される職員になれるよう 業務に精進します」と決意を表明しました。



代表で決意表明する渡邉職員(右)

富士地区・勝又さんが優秀賞

JA全国青年大会・組織活動実績の部

第70回JA全国青年大会が2月28日、29日に東 京都で開かれ、当JA青壮年部の勝又正登さん(富 士地区)が東海北陸地区代表として出場しました。

勝又さんは「Breakthrough(ブレイクスルー) 『前進』」と題して、地域とのつながりを深める活動 として、部員たちと協力して農産物を販売したこと を発表。資料映像や発表内容を改良して全国大 会に臨み、優秀賞に輝きました。

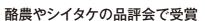


SUSTAINABLE GALS

JAふじ伊豆はSDGs「1~17の目標」につながる取り組みを行っています。

各所に記載のマークはSDGs目標アイコンです。

管内生産者が品評会最高位に輝く







第55回静岡県ブラックアンドホワイトショウが3月20日に長泉町、第43回静岡県乾椎 茸箱物品評会が4月16日に伊豆市でそれぞれ行われ、管内生産者が最高位など多数 入賞されました。4月26日、27日には御殿場市で2024セントラルジャパンホルスタイン ショウが開催され、当JA管内から8頭が出品されました。

各品評会の上位入賞者は次の皆さまです。

敬称略、()かっこ内は地区名

■第55回静岡県ブラックアンドホワイトショウ

グランドチャンピオン・県知事賞 (経産の部・第6部出品牛) 大美伊豆牧場(伊豆の国)

■第43回静岡県乾椎茸箱物品評会

金1席·林野庁長官賞

桑名 二朗「中葉中肉」(伊豆の国)

金2席·静岡県知事賞

小柳出 勝「上冬菇」(伊豆の国)

金3席

石井 猛「大葉中肉」(伊豆の国)

金4席

桑名 二朗「中葉厚肉」(伊豆の国)

金5席

星谷 彦衛「上冬菇」(伊豆の国)

金6席

小柳出 勝「大葉厚肉」(伊豆の国)



グランドチャンピオンに輝いた大美伊豆牧場の高橋実徳さん(中央左)





林野庁長官賞の桑名さんの乾シイタケ(左)・ 銘柄ごとに形状や色、光沢などを審査(上)

8 BERRY 12 9468E 17 (1-37-397)

12 9468E 17 (1-37-397)

(CO)

新茶シーズン到来!静岡茶市場で初取引

史上最も早い初取引



取引成立の「手合い」をする梶毅組合長(左から2番目)と髙木力常務(左)

富士・富士宮の2地区は4月12日、静岡茶市場 で開かれた「静岡茶市場新茶初取引」にそれぞれ 特色ある良質な荒茶を上場しました。

富士宮地区の手もみ茶が1kg当たり108万円で 取り引きされ、手もみ茶で最高値をつけました。富 士地区からは、昨年に引き続いて紅茶も上場しま した。

今年はいち早く消費者に静岡の新茶を届けよう と同市場開設以来最も早い初取引となりました。



15 Notioned 17 (1-57-5-57) HBERRALLS







お得な野菜セットを販売

伝法営農経済センターは4月13日、同センター で初の「野菜セット販売会」を開きました。

富士市伝法地区で栽培した春キャベツやミニト マトなど4種の野菜が入った野菜セットを500円 で販売したところ、用意した50セットがわずか10 分で完売するほどの大人気となりました。

今後も同センターでは旬に合わせたイベント販 売を行い、地元の特産物をPRしていきます。



人気の春キャベツなど地元の旬の味を販売





芝を育成し草刈り作業軽減

「センチピードグラス | 導入で労力と農薬低減へ

御殿場地区営農課と県東部農林事務所、(有)だ るま製紙所は、令和2年から畦畔の草刈り対策とし て雑草抑制効果のある芝の一種「センチピードグラ ス」の種子吹付処理の実証試験を行ってきました。

同試験で効果が認められたことから、4月16日に 御殿場地区米生産者を対象に導入に向けた説明 会を実施。約40人が出席し、種子の吹付処理を行 うための事前準備や注意点などを確認しました。



センチピードグラス導入の説明を受ける生産者





アスルクラロ沼津と「沼津茶 | PR

ホーム戦で新茶を配布

なんすん地区と沼津市は5月3日、沼津茶応援 大使を務めるプロサッカーチーム「アスルクラロ沼 津」のホーム戦が行われた愛鷹広域公園多目的 競技場で、選手と共に沼津茶をPRしました。

チームとコラボレーションしたデザインの一煎茶 パック配布と新茶の販売を行い、選手と一体となっ て沼津茶の認知度を高めました。来場者は「急須 で入れて味と香りを楽しみたい」と話しました。



選手(左)と一緒に一煎茶パックを配布







堆肥散布機を導入し作業効率化 組合員の支援と循環型農業の一助に

富士宮地区営農課は、JA共済連静岡県本部が 交付する「地域・農業活性化促進助成金」を活用 して堆肥散布機を導入し、本年度からレンタル農 機として同地区の組合員に貸し出しています。

堆肥散布機の導入により、組合員の作業効率化を 図り、併せて地元堆肥の活用を促し、化学肥料の使 用量を削減することで地域循環型農業を推進してい きます。



導入した堆肥散布機

園児たちをお花見会に招待

ツツジなど約500種類の庭木や花を観賞

ファーマーズマーケット「いで湯っこ市場」緑化

部は4月18日、伊東市立富士見保育園、さくら園の

園児34人を招き同市場でお花見会を開きました。

園児たちは花の名前を確認しながら、同部員が栽

お花見後には同部員から花の苗とお菓子をプ

レゼント。同取り組みは子どもたちに花に興味を

持ってもらおうと毎年開催しています。

培したツツジなどの庭木や花を見て回りました。



伊豆水わさびブランド維持発展へ

伊豆市へ政策要望書提出

当JAと伊豆の国わさび委員会は4月3日、菊地豊 伊豆市長にわさび生産振興にかかる要望書を提出 しました。持続可能なわさび生産振興に向けて、苗 の安定供給体制の確立や自然災害で被災したわさ び沢復旧の迅速化など5項目を要望しました。

梶毅組合長は「わさびは今後も成長を望める農 産物。JAや生産者の努力で足りない部分は行政の 支援でさらなる生産振興を図りたい」と話しました。



菊地市長(右)へ塩谷美博委員長らが要望書を提出





食セレ・特産物マイスター認定

三島野菜のブランドカ高めトップを目指す

「すごくきれい」と花見を楽しむ園児たち

三島市の生産者ら4人がしずおか食セレクショ ンや地域特産物マイスターに認定され、3月に豊 岡武士三島市長に認定を報告しました。

同セレクションにヤマツ葉しょうが部会の「ヤマ ツ葉しょうが」、「杉正農園の極みすて一きなす」、 「長谷川園のプルーロット(ひらたけ)」が認定。み しまマンゴー生産者の鈴木貴之さんは卓越した栽 培技術などによりマイスターに認定されました。



認定者4人が豊岡市長(中央)に報告

女性部が農業祭売上金など寄付

令和6年能登半島地震災害義援金

女性部伊豆太陽地区本部は3月21日、日本赤十 字社下田市地区に能登半島地震災害の義援金 121.596円を寄付しました。

3月開催の伊豆太陽地区農業祭で女性部が行っ たバザーやおにぎり販売の売上と、同日集まった募 金を合わせて寄付しました。渡邉良子部長は「皆さ まの誠意を被災地へ届けたい」と話しました。義援 金は日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。



芹澤直人副地区長(右)に目録を手渡す渡邉部長(中央) 16